

～土砂災害啓発センター活動だより～

那智勝浦町立色川中学校の生徒が土砂災害啓発センターを訪問

那智勝浦町立色川中学校の生徒8名(引率教員4名)が総合学習授業で防災について学ぶため、土砂災害啓発センターを訪問しました。

1. 土砂災害について学ぶ

平成23年紀伊半島大水害の那智川流域の災害概要に関する映像を見た後、職員からスライドで土砂災害の種類やその対策、土砂災害から身を守るためにはどうしたらいいのかの説明を受けました。また、土砂災害はいつ、どこで起こるかわからないため、早めの避難が重要であることを勉強しました。



職員から土砂災害について説明を受ける様子

2. 土石流やえん堤の役割を模型水路で体験

小型模型水路※による土石流の再現を通して、砂防えん堤がある場合とない場合の被害の違いについて学びました。

※ 小型模型水路は、水と土砂、流木を用いて土石流などを再現し、水と土砂、流木の動きを実際に目で見て確認することができます。そのほか、砂防えん堤の効果や天然ダム崩壊状況などを再現することができます。また、軽量小型で、室内で実施することができます。



小型模型水路全体図
(室内で使用可能)



実際に水を使用し、土石流の再現とえん堤の捕捉効果を実演

3. その他

その後、館内の土砂災害について説明したパネルや動画を見学しました。最後に生徒会長から、土砂災害についてわかりやすく説明してもらいありがとうございました、とのお礼の言葉を頂きました。



模型水路で再現した土石流について説明を受ける様子



館内展示物の見学の様子

土砂災害啓発センターでは、団体での土砂災害に関する研修を受け入れています。研修をご希望の方は、希望日の一か月前までに、電話もしくはメールにて事前にご連絡ください。なお、研修室の使用状況等によりご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知ください。

【問い合わせ先】

和歌山県土砂災害啓発センター
〒649-5302
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
TEL:0735-29-7531
メール:e0806041@pref.wakayama.lg.jp